

いよいよ3月3日(木)オープン！日本最大規模の商業駅ビル JR 博多シティ内に誕生するシネコン

T・ジョイ博多 アジアゲートウェイシネマ実現に向けた取り組み

☆オープン記念特別企画“2010 アジアデジタルアート大賞展 受賞作品特別上映”
☆アジアフォーカス・福岡国際映画祭 T・ジョイ博多, JR九州ホール 他にて開催予定

株式会社ティ・ジョイ(東京都中央区銀座三丁目2番17号:代表取締役社長 岡田裕介[おかだゆうすけ]以下、「ティ・ジョイ」といいます。)は、来たる平成23年3月3日(木)に、T・ジョイ博多をオープン致します。

ティ・ジョイは、これまで、国内の主要ターミナル駅を拠点として劇場設備を充実させ、ODS 等の新境地となるコンテンツを開拓する一方、海外展開では、特に韓国 CJ グループと信頼関係を構築し、エンターテインメントコンプレックスを実現するべく、果敢にチャレンジしてまいりました。

T・ジョイ博多は、ティ・ジョイ10年間の歴史の集大成であり、アジア展開の拠点となる劇場です。
開業にあたりまして、以下の2つのイベントが決定致しましたので、お知らせ致します。

～2010 アジアデジタルアート大賞展 受賞作品の特別上映～

「アジアゲートウェイシネマ」を掲げ、福岡におけるアジアの映像コンテンツ発信拠点を目指す「T・ジョイ博多」のオープンを記念して、以下の通り、特別上映を行います。

日時: 2011年3月3日～3月11日までの9日間限定
上映形態: 『2010 アジアデジタルアート大賞展』受賞作品を編集し約1分の紹介映像にまとめたもの(九州大学による編集)
鑑賞方法: 期間中、T・ジョイ博多における、映画本編上映前に 特別映像として流れます。

※「アジアデジタルアート大賞展」とは

福岡で、アジアから世界へ向けた知の発信とデジタルアート&デザインの普及啓蒙を行うことを目的に、九州大学、福岡県、福岡県コンテンツ産業振興会議 等が主催して開催される、国際規模のデジタルアートのコンテストです。

単なるCGソフトの活用に止まらず、メディアテクノロジーと芸術的感性とが融合した、意欲あふれるアジアの感性を生かしたデジタルアート作品が集まります。

～第21回 アジアフォーカス・福岡国際映画祭～

1991年(平成3年)から「アジアマンス」の主要事業のひとつとして、毎年秋に開催されている「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」が、第21回目となる今年、【JR博多シティ】9階の【T・ジョイ博多】、【JR九州ホール】、をメイン会場として開催を予定しています。

2011年3月3日(木)に開業を迎える、日本最大規模の商業駅ビル JR 博多シティの9階には、多目的ホール【JR九州ホール(シアター形式時 680席)】と、フルデジタル11スクリーンを備える最先端のシネマコンプレックス【T・ジョイ博多(11スクリーン 1,972席)】があり、開発当初より“国際的な映画祭の誘致”を目指して参りました。

具体的な日程や、プログラム等は今後発表予定。映画祭運営実績も豊富で、韓国最大手の映画会社 CJ エンターテインメントともパートナーシップを持つティ・ジョイでは、歴史ある本映画祭を全面的にバックアップし、これまで以上に市民の方に愛される映画祭になるよう、取り組んで参ります。

■本件及び報道に関するお問合せ先■

株式会社ティ・ジョイ 興行部 担当:原

TEL:03-3248-8173 / FAX: 03-3248-8176